

〔国際会議開催〕

申請者	金沢大学 ナノマテリアル研究所 准教授 松本 翼	2225013
国際会議名称	第 9 回有機・無機電子材料とナノテクノロジーに関する国際シンポジウム The 9th International Symposium on Organic and Inorganic Electronic Materials and Related Nanotechnologies	
開催期間	2023 年 6 月 5 日～6 月 8 日	
開催場所	石川県地場産業振興センター（石川県金沢市）	
申請者の役割	幹事補佐	

概 要：

本国際シンポジウム（有機・無機電子材料とナノテクノロジーに関する国際シンポジウム EM-NANO）は、有機および無機エレクトロニクス材料や薄膜、および、エレクトロニクスとそれらに関連したナノテクノロジーに関するものであり、研究分野としては、応用物理学会全体を網羅する融合的な領域でもある。また、有機と無機に関連する国際会議は個別には数多く実施されているが、有機と無機の両者の研究者が一堂に集まるものは少なく、これにより異分野の研究者同士の交流が盛んとなり、それによる新たな研究の進展や、新規な分野の開拓、ならびに応用物理学会北陸・信越支部の活性化につなげることを目的としている。

9 回目となる本国際シンポジウム（EM-NANO2023）は、前回コロナ禍のオンライン開催時の 159 名を大きく上回る 293 名（招待：26、一般：118 名、学生：149 名／うち海外：26 名）に参加いただいた。参加者の半数が北陸・信越地区外からの参加であり、多くの学会に協賛を依頼したこともあり、新たな交流、密度の濃い議論が繰り広げられた。講演も、有機と無機の多様な研究者から、口頭講演が 2 パラレルセッション（プレナリー講演：3 件、招待講演：18 件、一般講演：36 件）、ポスター講演が 3 回（171 件）行われ、『異分野の研究者同士の交流』が盛んにおこなわれた。本助成による学生表彰の充実や、Student Oral Session を設けて学生が英語で講演する機会を作る工夫などにより、200 名近い学生、若手研究者の参加があったことは、福井で開催される次回の EM-NANO2025 や応用物理学会北陸・信越支部の活性化につながったと感じている。